■設計者の皆様方へ　※オーダーされる前に必ずお読み下さい※不明点等ございましたらお気軽にお問い合せください。
■施工業者の皆様へ　※施工される前に必ずお読み下さい※不明点等ございましたらお気軽にお問い合せください。

【モルフェイス定番製品特性】

【製品仕様】

材　質	ケイカル板 ＋ 塗り材：HS(ハイスペック) モルタル
基　材	不燃ケイカル（t6mm）+ 塗り材：厚 1 ～ 2mm
仕上げ	モルタル / 錆肌（2 種）/ 錆メタリック（8 種）
サイズ	MOR-01：450x450x厚 7 ～ 8［mm］ ≒1.4kg/ 枚 MOR-02：600x1200x厚 7 ～ 8［mm］ ≒5.4kg/ 枚 MOR-03：600x300x厚 7 ～ 8［mm］ ≒1.3g/ 枚 MOR-04：600x450x厚 7 ～ 8［mm］ ≒1.9g/ 枚

※「錆メタリック仕上げ」は、MOR-02（600×1200）サイズには対応しておりません

【製品断面図】



仕上げ面の強度＝加工性能と施工性能　・・トーザイクリエイトが独自開発したハイスペックモルタルの表面強度の特性からモルタル仕上げをパネルとしての出荷が可能となりました

従来のモルタル壁(左官材)では実現しなかった建材(パネル)です

湿式工法の左官壁を「お手軽な乾式工法の仕上げ材」として弊社工場で仕上げた化粧パネルとして出荷します

●加工性能・・「丸のこ」や「ジグソー」などの手持ちの切断機で現場での切断・穴開けなどの加工ができます
●施工性能・・釘・エアーフィニッシュ・等での取り付けが可能です(打ち込んでも表面にヒビや割れが出ません)
従来の左官仕上げのように養生期間の必要が無いので天候に左右されることなく工期を短縮できます
また、左官職人の手配や技術に左右されることなく、短期間で安定した仕上げ壁が実現します

※釘・ｴｱﾌｨﾆｯｼｭは錆メタリック仕上げには使用しないでください



Q　「DIY可能簡単施工」ってどういうこと？

A→　一般的な化粧パネルは、仮止めに両面粘着テープと弾力性接着剤を併用した接着工法が採用されています。この方法は、熟練した職人でも慎重な作業が必要な施工方法です。
「左官deパネル MORFACE」は、仕上げ面（表）から釘やピンネイルを直接打ち込むことが可能であり、両面テープを使用せずに施工を進められます。また、接着剤が硬化するまでの間、釘を取り外すことで貼り込み時に生じたズレを容易に修正できます。

※切断、開口、釘打ちが簡単で、DIY作業にも適しています。
※専用の化粧目地材をご使用いただくことで、貼り込み作業がよりスムーズかつ美しく仕上がります。

⚠【注意】本製品は仕上げ済みのデリケートな製品です。運搬時、保管時、施工時の際は丁寧にお取り扱いください

■屋外や、直接水のかかる場所では使用出来ません。
■湿度・温度の高い場所、熱源に近い場所、直射日光の当たる場所の使用は変色・変形が生じる可能性がありますので、設置しないでください。
■立てかけ禁止！左官仕上げ製品は反りが起きやすい製品です。立てかけての仮置き、保管は絶対しないでください。
■仕上げ面の風合い・・弊社工場で職人が仕上げた手仕事による製品です。
・本製品は機械による大量生産品ではありません。一品ごとに職人による仕上げのため、「コテ塗りのむら」など、表情にバラツキがあります。また、経年と共に色むら・白化などが発生する場合もありますが、「製品の風合い = 特性」　としてご了解の上、ご採用ください。
■色味について
・主成分に普通ポルトランドセメントを使用しています。セメントのロットにより濃淡の違いがありますので、モルフェイス製品も濃淡が生じ均一の色味ではありません。また、濃淡の他、セメント特有の白化が生じる部位もありますが、塗装仕上げと違う独特の風合いを楽しんでいただく製品としての特性をご了解の上、ご利用下さい。
・モルフェイスの色味について(濃淡・白化等の風合い)
仕上げに着色材や顔料を使用していません。主成分の普通セメントの自然な色味を楽しんで頂く製品です。セメントのロットにより濃淡の違いがある特性をご了解の上ご利用下さい。
・カタログ・WEB の画像及びお取り寄せのカットサンプルは現物と色あい・風合いなどが異なります。

上記ご了解の上施主様へご説明の上、ご採用くださいますようお願いいたします

施工について

【モルフェイス定番製品施工手順】 参考資料

1 下地の確認 — 被着材の油分・ゴミ・ほこり等を除去、清掃する
2 墨出し割付 — 被着材に合せて下地に墨出し、割付を行う
3 ※プライマー — ※下地を考慮し必要な場合プライマー処理を行う
4 両面テープ — ※釘打ち簡易施工の場合は両面テープは不使用で貼り込みます
5 接着剤 — 被着材に適量の接着剤を塗布する
6 貼り付け — 接着剤塗布後速やかに貼り付けを行い被着材の上から充分加圧する
7 ※シーリング — ※現場状況を考慮し必要な場合必要部位にシーリング処理を行う
8 養生 — 接着剤が硬化するまで養生する

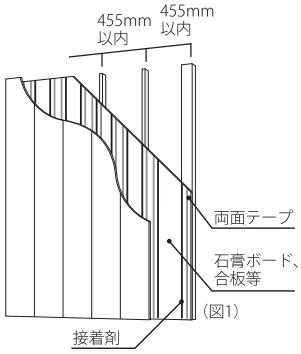
【施工手順等】

■施工前のご注意

1. 屋内の平らな場所で、床面からの湿気を防止できるよう床面直置きは避け、10 ～ 100 ㎜程度の高さで保管してください
2. 水濡れや汚れを防ぐため防水シート等で養生してください
3. 破損しやすい素材です。荷降ろし・搬入・運搬の際は充分注意してください
4. ボード下地上へ施工してください (石膏ボード・合板等) 充分な強度が得られます
5. 接着剤・両面テープは推奨品をご使用ください。接着剤の成分によっては施工後表面 にシミとなって浮き出ることが確認されています
6. 下地は乾燥した (含水率 20%以下) 材料を使用してください
   水分の多い素材を使用した場合、商品が水分を吸収し、表面のシミとなって現れることが確認されています
7. 水分が多い場所、頻繁に水がかかる場所には施工しないでください
8. 初期接着強度が低い場合は建材用の両面テープを併用してください

■施工手順

1. 下地を石膏ボード (9.5 ㎜以上) もしくは合板 (5.5 ㎜以上) でつくります。下地は平滑に仕上げます
2. あらかじめ仕上げ材を施工する前に仮並べを行い、数量のチェックと共に位置を確認し、墨出しを行います
3. 両面テープと接着剤で施工していきます。両面テープと接着剤を塗布する箇所のゴミ・ホコリを除去してください。ビニールクロス等が施工してある場合は必ず除去したうえで施工してください (図 1)



(図1)

推奨接着資材（現場手配品/注文可能品）

接着剤	ボンド MPX-7 	仕　様	シリコーン樹脂系エマルジョン
		推奨メーカー	コニシ㈱
		使用方法	TM 工法 (パネルタックテープと併用)
		適用範囲	≒170 g / ㎡ (0.5 本)
両面テープ	パネルタックテープ 	仕　様	粘着テープ
		推奨メーカー	日東エルマテリアル㈱
		使用方法	TM 工法 (MPX-7 と併用)
		適用範囲	≒4.2m/ 枚（600 x 1200） ≒2.2m/ 枚（450 x 450）

推奨接着資材は弊社からも購入できます
左の QR コードよりお問い合わせください

推奨留め付け資材（現場手配品）

ピンネイル	仕　様	長さ : 25 30 35　径 : 0.6Φ
	材　質	メッキ、ステンレス
	推奨メーカー	マックス㈱、㈱マキタ
	適用範囲	木製下地 (壁)
スーパーフィニッシュ	仕　様	長さ : 25 30 35　径 : 3.8Φ
	材　質	メッキ、ステンレス
	推奨メーカー	マックス㈱、㈱マキタ
	適用範囲	木製下地 (壁、天井)
皿木ねじ	仕　様	長さ : 25 以上　径 : 3.0Φ以上
	材　質	メッキ、ステンレス
	推奨メーカー	―――
	適用範囲	木製下地 (壁、天井)

施工後のご注意・日常のお手入れ

1．表面に付着した汚れをそのままにしておくと、内部に染み込み落ちにくくなります。汚れが染み込む前にきれいな布等で拭き取ってください。
2．汚れが付着した布や雑巾はかえって汚れをひどくする場合がありますので使用しないでください。
3．汚れがひどい場合は中性洗剤を水で薄めた溶液に浸した布を固く絞り拭いてください。終了後、別の布を水に浸し固く絞り充分洗剤の成分を拭き取るようにします。※洗剤が表面に残ったまま放置した場合、変色を起こすおそれがあります。
4．酸性・アルカリ性の洗剤、塩素系漂白剤、シンナー、金属タワシ、研磨剤は使用しないでください。
オプションとして防汚・防水・耐薬品性の高い「HS Protect」を施すことができます。事前にお問い合わせください。